



奈良県の世界遺産

世界遺産は国内23件のうち3件が県に

世界遺産リストへの登録数は、国内には23件(文化遺産19件、自然遺産4件)あり、うち、本県には3件(文化遺産)登録され、全国1位となっています。さらに2007年には、「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」が登録を目指す暫定リストに追加されています。

世界遺産には、文化遺産・自然遺産・複合遺産の3種類があり、有形の不動産が対象となっています。文化遺産は顕著な普遍的価値を有する記念物、建造物群、遺跡、文化的景観などで、自然遺産は顕著な普遍的価値を有する地形や地質、生態系、景観、絶滅のおそれのある動植物の生息・生息地などを含む地域で、複合遺産は文化遺産と自然遺産の両方の価値を兼ね備えている遺産とされています。

2020年7月現在、世界遺産リスト登録件数は1,121件で、その内訳は文化遺産869件、自然遺産213件、複合遺産39件となっています。

■奈良県の世界遺産

資料:UNESCO(World Heritage List)

法隆寺地域の仏教建造物 (1993年12月登録)

法隆寺、法起寺

古都奈良の文化財 (1998年12月登録)

東大寺、春日大社、興福寺、元興寺、唐招提寺、薬師寺、春日山原始林、平城宮跡

紀伊山地の霊場と参詣道 (2004年7月登録)

《霊場「吉野・大峯」》

吉野山、吉野水分神社、金峯神社、金峯山寺、吉水神社、大峰山寺

《「参詣道」》

大峯奥駈道(玉置神社含む)、熊野参詣道小辺路

飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群

(2007年1月暫定リストに追加)





国宝・重要文化財

国宝・重要文化財は1,327件(全国3位)

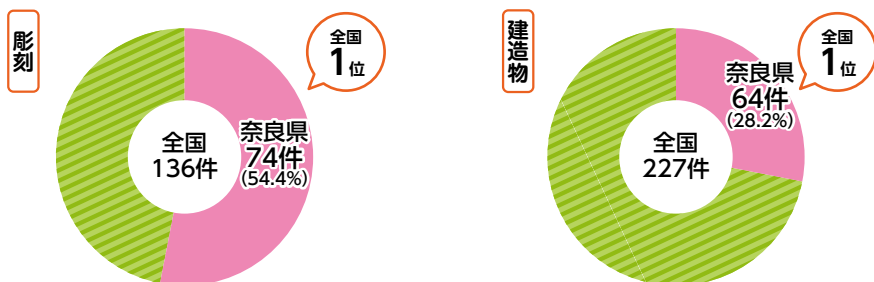
国宝・重要文化財の件数は、奈良県は1,327件と、東京都、京都府に続き全国3位となっています。そのうち、国宝の件数は203件と東京都、京都府に続き全国3位となっています。

種別ごとに見てみると、彫刻(ほとんどは仏像)及び建造物の国宝の件数は、ともに全国1位です。彫刻は全国の件数136件のうち54.4%にあたる74件、建造物は227件のうち28.2%にあたる64件が奈良県にあります。

※奈良国立博物館の収蔵品は法人の所在地のある東京都に含まれるため、奈良県の件数には含まれていない。

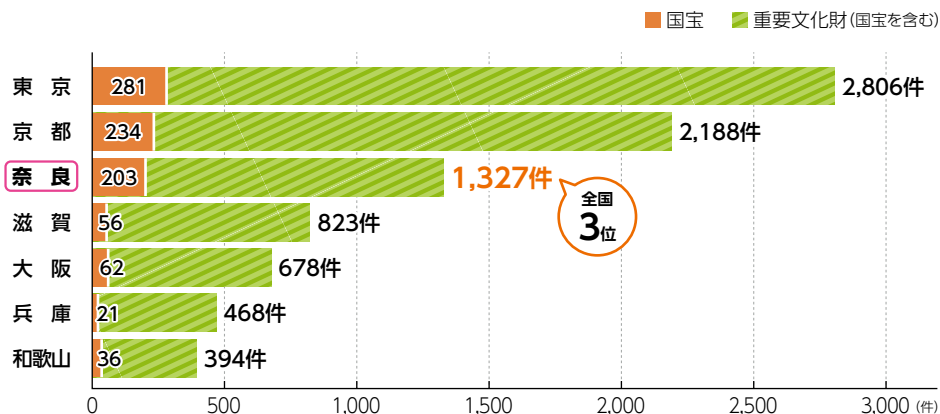
彫刻及び建造物の国宝の件数

資料:文化庁「国宝・重要文化財等都道府県別指定件数一覧」



国宝・重要文化財(令和2年4月1日現在)

資料:文化庁「国宝・重要文化財等都道府県別指定件数一覧」





史跡名勝天然記念物

史跡名勝天然記念物は146件(全国1位)

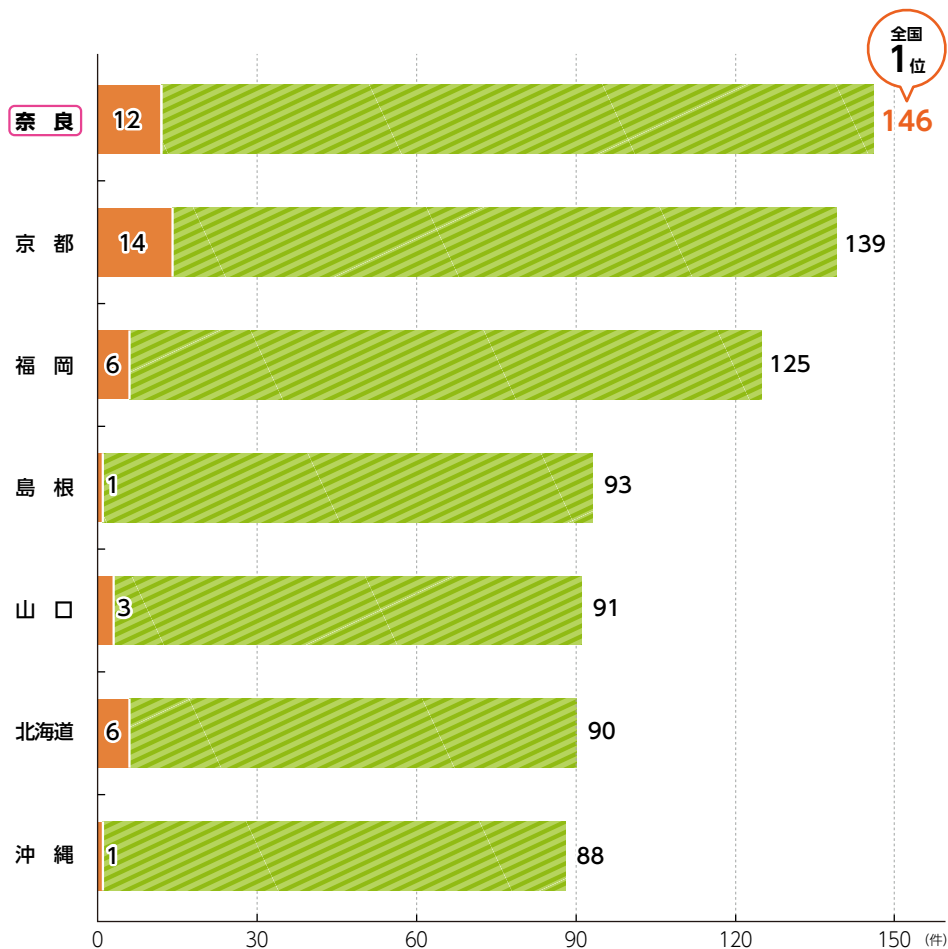
史跡名勝天然記念物の総件数は、奈良県は146件と全国1位となっています。そのうち、特別史跡名勝天然記念物の件数は12件と、京都府に続き2位となっています。

■ 史跡名勝天然記念物(令和2年4月1日現在)

資料:文化庁「国宝・重要文化財等都道府県別指定件数一覧」

■ 特別史跡名勝天然記念物

■ 史跡名勝天然記念物(特別史跡名勝天然記念物を含む)





正倉院宝物

正倉院宝物は約9,000点

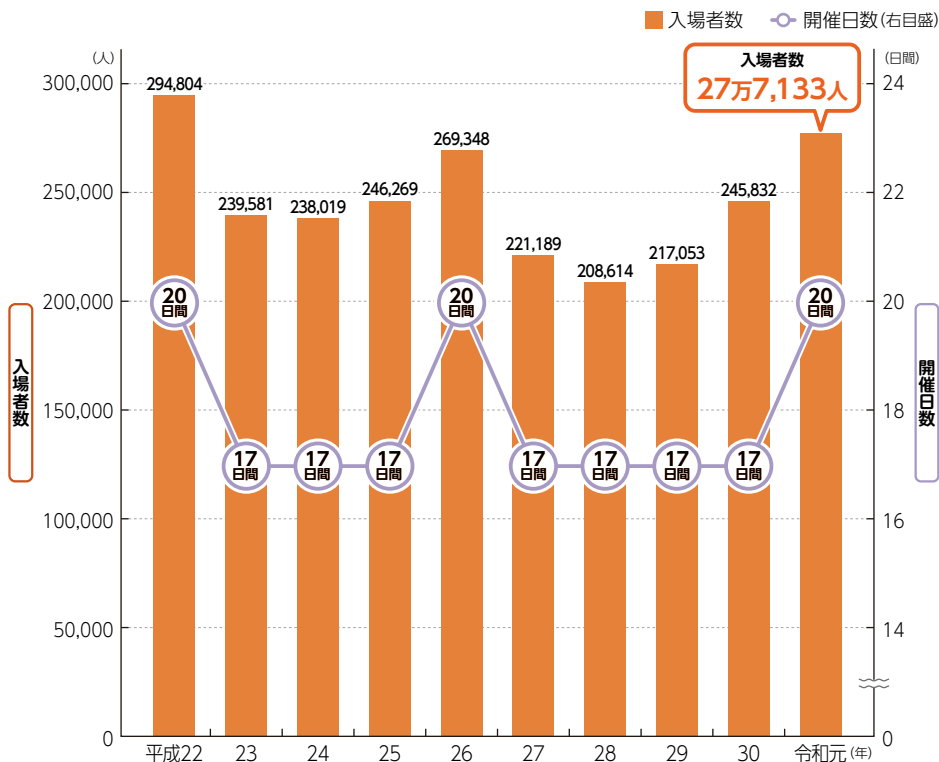
8世紀中頃の奈良時代(756年)に、光明皇后が聖武天皇の御冥福を祈念して、御遺愛品などを東大寺本尊盧舎那仏(大仏)に奉獻されました。その品々は同寺の正倉(現存の正倉院宝庫)に収蔵され、永らく保存されることとなりました。これが正倉院宝物の起こりです。その後、東大寺の重要な法会に用いられた仏具や、平安時代中頃に倉庫から正倉に移された什器類なども加わり、その宝物は整理済みのものだけでも約9,000点という膨大な量となっています。現在は宮内庁の所管におかれ、国宝・重要文化財には指定されていません。

なお、正倉(正倉院宝庫)は平成9年に国宝に指定され、翌年「古都奈良の文化財」の「東大寺」の一部として、世界遺産リストに登録されています。

毎年秋には、奈良国立博物館でその宝物の一部が「正倉院展」として公開され、国内外から多くの方が見学に訪れます。

正倉院展入場者数

資料:奈良国立博物館





文化活動(1)

多くの文化活動の行動者率で全国平均より高い水準

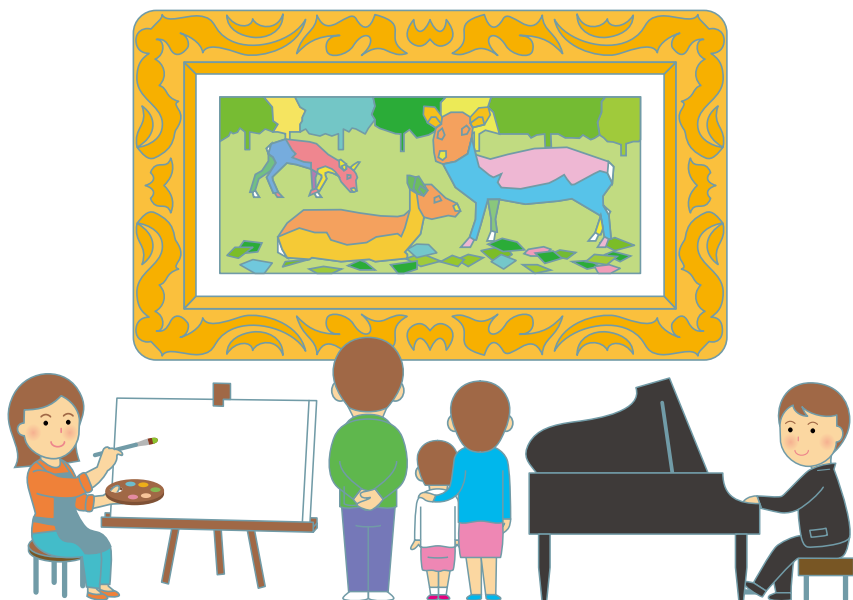
文化活動を種類別にみると、行動者率は多くの活動で全国平均を上回っています。

行動者率をみると、美術、演劇、音楽などの「鑑賞」を行う人の割合等で、奈良県は全国平均を上回っています。

奈良県について男女別にみると、全ての活動で女性が男性を上回っています。男性、女性とも1位は美術鑑賞(男性17.7%、女性24.7%)、2位は演芸・演劇・舞踊鑑賞(男性10.6%、女性20.4%)、3位はポピュラー音楽・歌謡曲鑑賞(男性10.3%、女性18.1%)となっています。

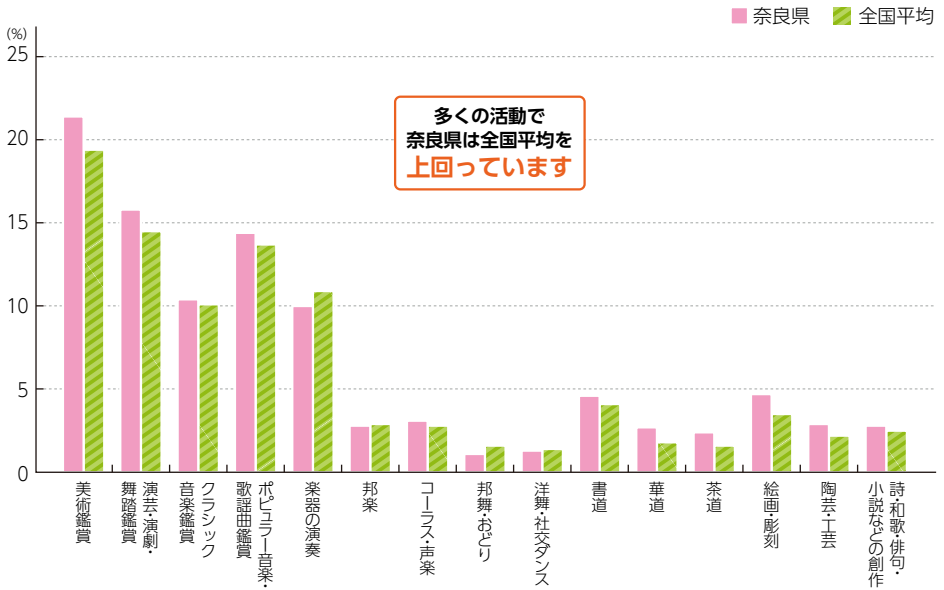
「鑑賞」以外では、女性の1位は楽器の演奏(13.0%)、2位は書道(6.5%)、3位は絵画・彫刻(6.2%)で、男性の1位は楽器の演奏(6.6%)、2位は絵画・彫刻(3.0%)、3位は邦楽(2.7%)となっています。

- 行動者数…過去1年間に該当する文化活動を行った人の数(10歳以上)。
- 行動者率…行動者数が10歳以上人口に占める割合。



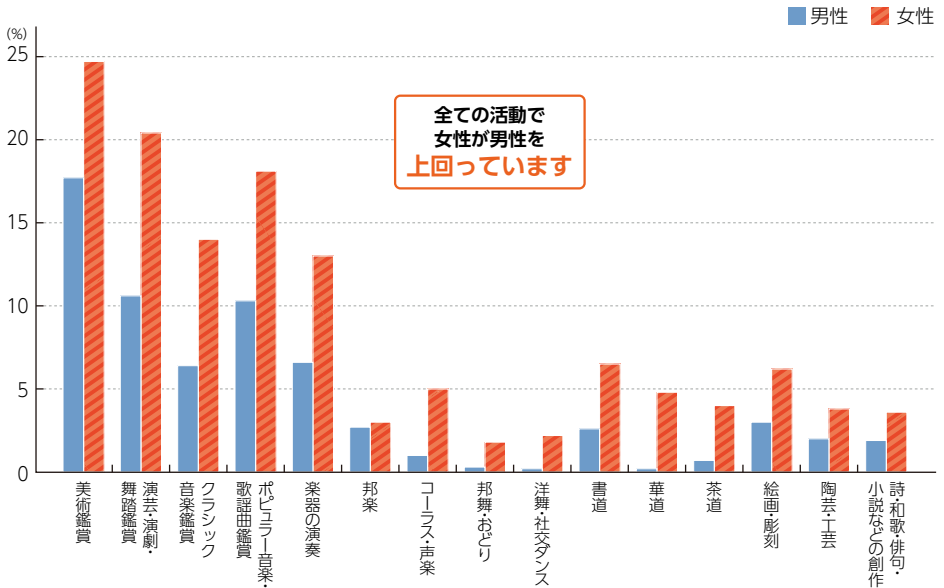
文化活動の種類別行動者率(全国比較)

資料:総務省統計局「平成28年社会生活基本調査」



文化活動の種類別行動者率(男女比較)

資料:総務省統計局「平成28年社会生活基本調査」





文化活動 (2)

「創作活動」を行う人の平均行動日数は多い

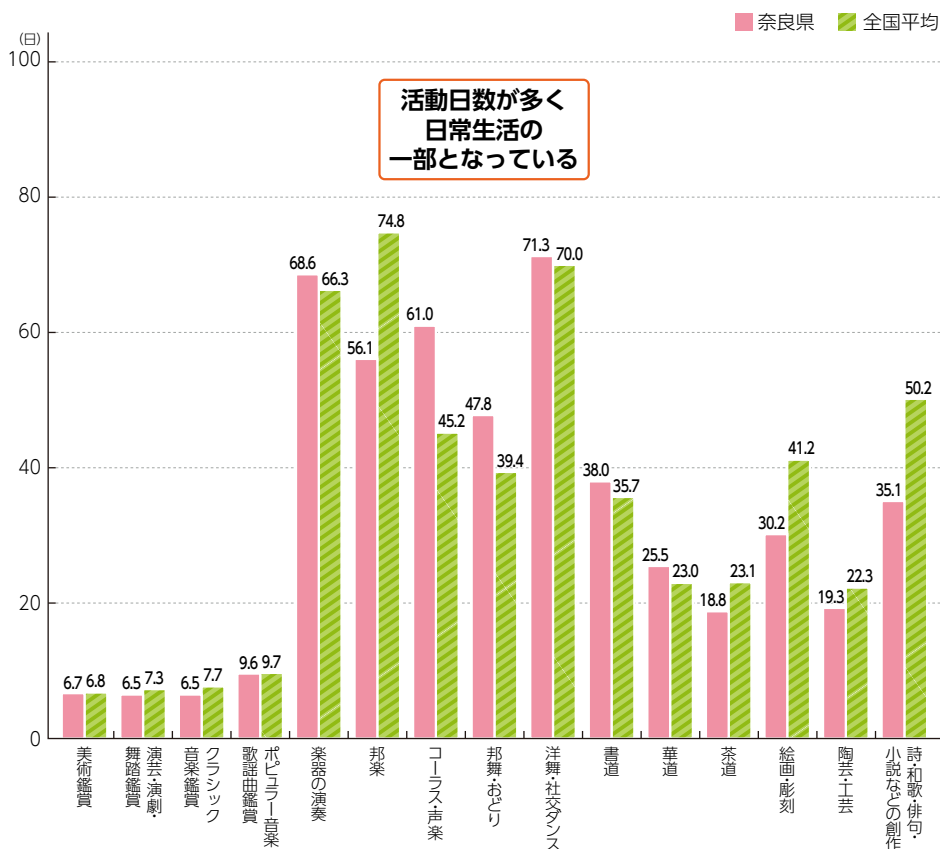
文化活動の平均行動日数を種類別にみると、「創作活動」を行う人は平均行動日数が多く、活動が日常生活の一部となっていることがうかがえます。

平均行動日数をみると、「鑑賞」を行う人はすべての種類で10日以内ですが、「創作活動」を行う人は洋舞・社交ダンスの71.3日、楽器の演奏の68.6日など活動日数が多く、日常生活の一部として活動しています。

● 平均行動日数…行動者について平均した過去1年間の行動日数。

文化活動の種類別平均行動日数

資料：総務省統計局「平成28年社会生活基本調査」





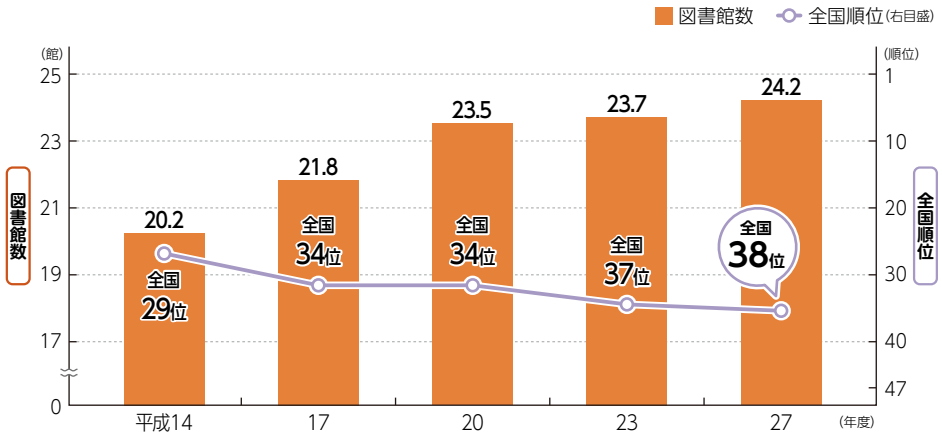
図書館・博物館

人口100万人当たりの図書館数の全国順位は38位、
博物館数は11位

人口100万人当たりの図書館数は24.2館(全国38位)と全国順位は中位より下ですが、博物館数は16.1館(全国11位)と上位に位置しています。

図書館数(百万人当たり)

資料:総務省統計局「社会生活統計指標」



博物館数(百万人当たり)

資料:総務省統計局「社会生活統計指標」

